

# 浅田 彰

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kenjiro Matsui

2018年も心配な日本の行く末を憂えた。

新幹線、リニア、インド外交など、

対談を行った田中・浅田両氏。

焼豚パクチーサンドや紅ほうじ茶ラテを味わいながら、

東京・祐天寺の住宅街にオープンしたカフェ「Turu」で、

イスラエルとアラブ問題まで。

インドーパシフィック、

公共交通機関のあり方、

新幹線の重大インシデントから、

今月のゲスト

# 田中 康夫

# 憂国呆談

season 2 VOLUME 92

## 安全神話に亀裂が。 新幹線は大丈夫？

浅田 昨年12月11日に新幹線で初めての「重大インシデント」があった。博多発東京行き34号が、車内で異臭や異音などを認識しながら、3時間以上も走行を続けた挙げ句に名古屋駅で運行をストップ。調べてみると台車の底面に16センチ、側面に14センチもの亀裂が見つかった。破断寸前の状況で、よくも「重大アクシデント」にならなかつたもんだ。小倉駅前後ですでに異変が感じられたし、福山駅を過ぎると車内にモヤのかかったような状態さえ見られた。岡山駅から乗車したJR西日本の車両保守担当の社員は停車して点検しようかと言ったのに、東京の指令所に伝わらず、運転中止の判断を下せなかった。新大阪駅でも「異常なし」ってことでJR東海に引き継いだらしい。

田中 川崎重工が製造したJR西日本所有の車両ではあるけど、新大阪で引き継いだJR東海も、京都を過ぎた段階で再び異臭を感知しながら名古屋まで運行を続けた責任は重い。途中の米原や岐阜羽島で緊急点検できたわけだよ。なのに、この件で意見を聞いたのはJR西日本だけ。しかも運輸安全委員会が翌12日に調査員を派遣してからメディアに発表する鈍感力。JR宝塚線の尼崎での脱線事故の教訓が早くも風化している。

浅田 国鉄を民営化したとき、組織が大きすぎると経営のグリップが利かないってことで分割した。でも、新幹線なんかは統一的に運営したほうがいい。むしろ定時運行の実績は素晴らしいけど、それにこだわって安全をないがしろにするなら大問題だよ。

田中 標高1600メートルの南アルプスの真下を遠隔操作の無人運転で走行するリニア中央新幹線も問題山積。糸魚川静岡構造線のフォッサマグナが大地震で動いたら逃げようがない乗客は阿鼻叫喚の地獄絵だよ。工事で排出される土砂もなんと東京ドーム46個分。お濠の部分も含めた皇居の2倍の面積にギョシリ立ち並ぶほどの分量なのに、その処理方法も決まっていない。しかも総工費9兆円をJR東海が全額自前で調達するのを条件に認可されたのに、3兆円もの財政投融资を年利1パーセント・当初10年元本支払い据え置きで実施する、

いまだかつてない「経済対策」のスキームもいつの間にか閣議決定していた。

浅田 リニアの建設工事をめぐってゼネコン大手4社の談合が発覚したけど、前から言ってるように、そもそもリニアの建設はやめたほうがいい。ただ、談合の合理性ってのもあってさ。みんなから一目置かれてる業界のドンが、「この工事ならあそこが得意だから」とか言って適当に仕事を振り分ける。たしかに閉鎖的で、競争による効率化が阻害される面はあるよ。ただ、たとえば完成後に雨漏りがしても、ゼネコンに言えば駆けつけて無料で直してくれる。それを、こういう場合はどこどこがどう責任を取るか全部明文化していくと、アメリカみたいに弁護士が間に入って膨大な契約書をつくることになってしまい、かえって非効率だったり



もするわけ。

田中 「なあなあ」とは違うところの「塩梅」という差配を認めない窮屈な社会になってきているんだね。とりわけ、建造物ははじめとする街のランドスケープのデザインはセンスが問われるから、価格だけで決定するのは難しい。とはいえ、その期待に応えられるだけの「目利き」の人物が選考を担当しないと、仲間内の仲良しクラブで仕事を回しあつて、才能ある新人をモグラ叩きする悪循環に陥っちゃうから、これまた難しい。

ところで、静岡県知事と静岡市長がリニア建設に反対しているのは、静岡を素通りするからではなくて、南アルプス水源とする大井川の流量がリニア建設で減少しちゃうからなんだ。以前にも京都で御池通の真下を通り過ぎる地下鉄東西線が建設されたら、木屋町や先斗町の料理屋が使っていた井戸水が涸れてしまつて問題になつたでしょ。当

のJR東海も大井川の流量が毎秒2トンも減ると試算している。導水トンネルを設けて7割を川に戻すと云つてるけど、果たしてどうなのか。リニアはレールがないから維持費が掛からないのもメリットだと、偏差値優等生な鉄チャンは言つてるけど、視点を変えれば貨物列車は走れないってこと。南海トラフ巨大地震発生時の緊急物資輸送のライフラインにはなりません、つてことなのよ。

浅田 リニアは莫大な電力を食うけど、「だからやっぱり原発が必要だ」って方向に持っていきたいんだろうね。他方で、広島高裁が四国電力伊方原発3号機の運転差し止めを命じた際に、伊方原発から約130キロ離れた阿蘇山について、過去最大の約9万年前の噴火で火砕流が原発の敷地の場所に到達した可能性が十分小さいとは評価できないと述べて、伊方原発は立地に問題があると判断した。最新の地震学を踏まえた正しい判断だと思うね。1596年の慶長大地震で豊臣秀吉の伏見城が倒壊するんだけど、その直前にはいまの愛媛県や大分県でも地震があり、磯崎新の先祖が住んでたっていう別府湾の瓜生島が沈んだりしてる。明らかに中央構造線に沿って連動したんだね。そういう例も含めて見直すと、今まで地震の危険の評価は楽観的すぎる。それでもなお原発の再稼働にこだわるなら、それで十分かどうかはさておき、安全対策のために巨額の費用がかかるんで、原発が安いなんで話が成り立つわけではない。かといって、インドに原発を輸出するつてのもどうかと思うよ。

田中 そのインドには原発だけでなく新幹線も輸出するんだけど、自分の出身地のグジャラト州アムダバードとムンバイを結ぶ新幹線建設費用の8割以上にあたる8800億ルーピー(約1兆6000億円)の円借款を年利0・1パーセント、償還期間50年という好条件で日本に吞ませたナレンドラ・モディ首相は、車両も現地生産すると言いつつ出した。日本で製造して輸出するものだと思つていたJR東日本や車両メーカーは、インド製の車両が事故を起こしても世界は日本の指導力・技術力不足と捉えてババを引くだけだと頭を抱えている。「ゼ

ロ」を発見した国家とのディールは一筋縄ではいかないね。そう思うと、インドで自動車販売シェア5割を誇るスズキは大変なものだけだ。

浅田 むしろ、インドにこそニア新幹線をつくらばいい。

田中 そう、平地が多いし、良くも悪くも中国と同じで、土地を強制収用できる国なんだから。あるいは地震とは無縁な東海岸のボストン・ニューヨーク・ワシントン・シカゴを結ぶ壮大な計画を、ディール好きでドナルド・トランプに呑ませて、日米がウィン・ウィンになるとかね。

浅田 話は変わるけど、昨年夏に新たにオープンした富山県立美術館に行ったら、市街地にLRTが走っていて、なかなかよかったです。バスにも同じホームから乗り継げるようになって、老人や障害者にも便利。高齢化を見越したコンパクト・シティ構想の一環としては、わりとうまくいっているんじゃないかな。京都も市電をLRTにして、私鉄に乗り入れるようにすりやよかったです。たとえば四条通にそれが走ったりや、バスの乗り入れをやめて2車線を強行した結果、バスが団子になって渋滞し、四条通はクルマが寄り付かない場所に。

田中 札幌や広島、熊本といった都市と同様に、富山には路面電車の歴史があるからね。僕が思春期を過ごした松本も、浅間温泉まで行く松本電鉄の軌道を残していたら貴重な財産になっていたのに。

浅田 クルマとの共存も重要だね。JRが駅を整備するときタクシーを冷遇する傾向があるのは問題。高齢化社会だし、病気や障害のある人も多いんで、タクシーは必須の交通手段。なのに乗り場が遠くへ追いや

られるケースが多い。東京駅も、行幸通りで皇居に直結することを強調する天皇制美学に従って丸の内側に駅前広場をつくらけど、タクシー乗り場はかえって遠くなったし、たとえばオアゾのほうへ渡る横断歩道も迂回して渡るようになった。旅客の便宜を第一に考えるべきなのに。

田中 そんななか、トヨタが発売したジャパンタクシーはよくできてると思うよ。自動ドアの開け閉めが遅いとか、車椅子で乗車する場合にスロープを付けたり助手席を倒す手間で10分程度掛かってしまうとか、改善すべき点はあるけど、ニューヨークのイエローキャブに採用された日産のNV300よりも遙かにロンドンタクシー的な機能も備えていて、外装も黒塗りではなく落ち着いた色合いの濃藍なのが、しっくりくる。東京駅や羽田空港のタクシー乗り場は荷物も積めるロンドンタクシー型に限定すべき。2020年までに東京のタクシーを総入れ替えする施策に税金を投入するほうが、はるかに少ない金額で効果を生み出す「経済対策」でしょ。

他方で、スペインの運転手組合の24時間



#### 田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。http://tanakayasuo.me

ストが発端かもしれないけど、EU司法裁判所がウーバーに関して、タクシーと同じ運輸会社だと裁定を出し、同様の規制を適用することを認めた。日本でも山間地で集落の住民が助け合って乗せるというケースは認めるべきだけど、当社はドライバーと利用者をデジタルアプリ上で仲介しているオンラインサービスに過ぎないから規制緩和の対象だというウーバーの主張に一矢報いた展開。極論すれば、異性や同性同士が「自由恋愛」するのをアプリ上で仲介している無店舗型を超えた新しい形態だから風俗営業法の範囲外と居直ると同じだからね(苦笑)。

浅田 ウーバーはネット上の評価で淘汰されるから大丈夫って言うけど、定期的に使客ならともかく、旅行者なら1回勝負。問題の起る危険は否定できないからね。

#### インドパシフィックと、置いてけぼりの日本。

田中 インドの新幹線で思い出したけど、ドナルド・トランプ大統領が昨年11月上旬のアジア歴訪中に、「アジア太平洋」でなく

「インド・パシフィック」という言葉を頻繁に用いていた。中国包囲網「自由と繁栄の弧」を2006年に打ち出し、日本が掲げた「インド太平洋戦略」を踏まえた発言だとぬか喜びする報道も見られたけど、その逆だと思ふよ。

太平洋・大西洋・インド洋・北極海・南氷洋の「五大洋」で地球の海域は構成されているから、「インド・パシフィック」地域とは実は、アジア太平洋地域と同義語ってことになる。まもなくGDPがドイツを抜いてしまうであろうインドの隆盛を強調し、拡大し続ける中国の世界的影響力への牽制球的な意味合いでトランプが用いたと考えるのは、島国ニッポンならではの我田引水ではない。

だって、インドの国別輸入額は中国がトップで、「ディール」取引が行動規範のトランプは今回、29兆円ものビジネス調印を中国から謹呈されて大喜びだった。ドナルド&メラニア・トランプ夫妻と習近平・彭麗媛夫妻が貸し切り状態の故宮で記念撮影した1枚は、株主資本主義の覇者と国家資本主義の覇者を世界に印象づけた。

国内の雇用と景気が最優先なトランプとしては、インド洋周辺はインド、南太平洋周辺はオーストラリアが担当しておくれ。で、北太平洋周辺は日本と中国でうまくやっておくれということだね。親中派の父親への対抗心なのか、中国はインド洋にも太平洋にも面していないアジアの一員だから、トランプの「インド・パシフィック」発言は中国外しを意味する、つてな絵解きを外務大臣の河野太郎は述べたけど、勘違いにもほどがある。魚や植物の分類表と同じで、日本海も黄海も、東シナ海も南シナ海も「パシフィック」の中に位置づけられ



GDPで中国、アメリカ、インドが世界3強となっていく。日本と中国でうまくやっていると深意は明らか。(田中)

てるんだよ。悔しくも哀しくも、GDPという経済の尺度で中国、アメリカ、インドが世界3強となっていくのは明らかで、とすると「北太平洋周辺は日本と中国でうまくやっておくれ」という発言の深意は明らかでしょ。

浅田 そもそも「インド太平洋」概念は安倍の発案じゃなく、アメリカじゃやっぱ前から言われてた。中国が覇権主義を強め、「一帯一路」構想を打ち出したのに対し、安倍がそれに対抗すべく強調し始めただけだよ。ただ、そもそも中国を封じ込めるなんて不可能だし、幸か不幸か「アメリカ・ファースト」を唱えるトランプにはそんな気なんてない。日本が騒いでる小さな島の領土問題なんて勝手に始末しろってのが本音でしょう。

## イスラエルの首都問題と、サウジアラビアの動向。

浅田 ただ、選挙でのロシアとの共謀を疑われ、前号で取り上げたセクシュアル・ハラスメント追及でも最大のターゲットにされたトランプが、目くらましのため暴挙に出る恐れはあってさ。エルサレムをイスラエルの首都と認めたこともそのひとつ。1967年の第三次中東戦争でイスラエルは東エルサレムその他の地域を占領したけれど、国連は一貫してそれをイスラエルの領土とは認めてない。エルサレム全体をイスラエルの首都と認めることは、占領されたパレスチナ側との領土交渉を否定し、アメリカが和平交渉の仲介者として立場を放棄することにほかならないで、激しい反発を招いているのも当然。

田中 イスラエルとパレスチナは膠着状態のまま、互いに年中行事のように一般市民



の悲劇が生まれている。メキシコ国境での「万里の長城」建設と同様に壁をつくって両者が住めるようにしようという実に乱暴だけのお花畑とも言い切れないトランプの奇想天外なアイデアをうまく調整できる優秀な人間がいれば、平和的な「ベルリンの壁」になるかも知れない。

浅田 たしかに、1995年のイツハク・ラビン首相暗殺以来、和平プロセスは完全に膠着してた。今起こった反米抗議運動も、かつてのインティファダのような勢いはなく、長続きしそうにないし、バックにいるアラブ諸国も熱意を失ってる。その現実に見合った解決に向けて仕切り直しをする必要があるかもしれないね。

ただ、このままだとイスラエルは巨大なアラブ人口を抱えるアパルトヘイト国家になっちゃう。しかも、人口動態からしてアラブ人の比率は高まる一方。ラビンのような大政治家による大胆な譲歩が求められているのに、ベンヤミン・ネタニヤフ首相はトランプをよいしょし、国内の右翼に媚を売るばかり。実はイスラエルにとっても絶望的な状況だと思うよ。



## エルサレム全体をイスラエルの首都と認めることは、和平交渉の仲介者として立場を放棄すること。(浅田)

田中 確かにね。就任1年の1月20日に全米で100万人が反トランプデモに参加したけど、当のトランプは2期目に色気を出してはと報じられた。イヴァンカの夫のジャレッド・クシュナーはユダヤ教徒だしね。でも、ハーフやクオーターを含めた広義のユダヤ系人口は最大でも600万人で、実は3000万人ものキリスト教福音派の票狙いだと分析する向きもいるからおもしろいね。エヴァンジェリカンと呼ばれる福音派はトランプ支持層と重なり合う。その言葉の響きから日本では好意的に捉えがちだけど、中絶反対、進化論否定のキリスト教原理主義的色彩が強く、エルサレムはユダヤ人が管理すべきと教えられている。

浅田 他方、サウジアラビアの状況も微妙だね。1979年のイスラム原理主義者によるメッカでのモスク占拠事件以来、サウド家は金満体質を糊塗するためにワッハーブ派を中心とするイスラム原理主義を国是とした。オサマ・ビン・ラディンのアル・カイダなんかそこから出てきたわけ。第三世代として初めて皇太子になったムハン

マド・ビン・サルマンは、それを稳健路線に転換し、女性の権利も認めるとか、欧米の文化も部分的に取り入れるとか、大改革を進めようとしている。それは歓迎すべきことだと思うよ。ただ、ライヴァルの王子たちをリッツ・カールトン・ホテルに幽閉して財産の放棄を迫るとか、やり方が乱暴すぎる。とくに問題なのは、これまで以上にイランを敵視し、イランと妥協したカタールさえ封じ込めようとしているところ。で、イランに対抗するにはイスラエルとの協力も辞さないことになるわけね。実はイランでも同じ1979年のイスラム革命で樹立された神権政治が限界に達しつつあり、若者たちが抵抗運動を続けている。サウジアラビアとイランがともにイスラム原理主義から脱するのが理想なんだけど、両国の対立は双方の保守派を利することにしかならないってのが、最大の課題。つまるところ、かつて中東を取材したトーマス・フリードマンの言うように、1979年の呪縛を解くことができるかがって問題なんだよ。

田中 有事にはサウジの上空をイスラエルの戦闘機が飛ぶことを黙認する密約の存在も、対イラン戦略。敵の敵は味方を超えた凄いな話だ。

浅田 サウジにもイランにも改革に成功してほしいんだけどねえ。一方的にサウジとイスラエルに肩入れし、イランを叩くだけのトランプは、事態を悪化させるだけ。イランとの核合意を破棄しようものなら、北朝鮮の非核化もますます難しくなるのに。

田中 その朝鮮半島を巡って、年末から年明けにかけて大きな動きがあった。平昌オリンピックの「成果」も踏まえて次回、じっくりと話し合おうか。



### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラー。